

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

| | | | | | |
|----------|--|-----------|---------|----------------|-----|
| 施策展開 | 3-(1)-ウ | 陸上交通基盤の整備 | 施策 | ① 各拠点を結ぶ道路網の整備 | |
| | | | 施策の小項目名 | ○陸上交通基盤の整備 | |
| 主な取組 | 情報通信技術の活用による交通の円滑化 | | | 実施計画記載頁 | 177 |
| 対応する主な課題 | ②道路は県民生活や経済活動を支える上で重要な役割を果たしているが、広域交流拠点と各圏域拠点間の有機的な連結が実現しておらず、交通渋滞が慢性化している状況であることから、体系的な幹線道路ネットワークの早期構築が必要である。 | | | | |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容 | | 年度別計画 | | | | |
|--|--|--|----|----|----|----|
| | | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の新設・改良・更新、交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化、高度道路交通システム(ITS)の整備に取り組み、交通安全環境の整備を推進する。 | | | | | | |
| 実施主体 | | 県 | | | | |
| 担当部課【連絡先】 | | 警察本部交通部交通規制課 【098-862-0110】 | | | | |
| | | 交通管制システムの高度化(交差点信号機の集中制御化) H23年度580基(累計) → H33年789基(累計) | | | | |

2 取組の状況(Do)

| (1)取組の進捗状況 | | | | | | | (単位:千円) | | | |
|------------------------|------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---------|------|--|--|
| 予算事業名 交通安全施設管理費 | | | | | | | H30年度 | | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H25年度 決算額 | H26年度 決算額 | H27年度 決算額 | H28年度 決算額 | H29年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | ○H29年度: — | |
| 県単等 | 直接実施 | — | 206,713 | 174,147 | — | — | — | | ○H30年度: — | |
| 予算事業名 交通安全施設整備事業(補助事業) | | | | | | | H30年度 | | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H25年度 決算額 | H26年度 決算額 | H27年度 決算額 | H28年度 決算額 | H29年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | ○H29年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の新設8基、改良・更新273か所、公共車両優先システムの整備を行った。 | |
| 県単等 | 直接実施 | — | 649,881 | 591,211 | 1,122,906 | 657,873 | 675,257 | 県単等 | ○H30年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、引き続き、交通信号機の改良・更新整備を行う。 | |

様式1(主な取組)

| 予算事業名 交通安全施設整備事業(単独事業) | | | | | | | H30年度 | | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画 | |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|-------------|----------------------|--|---|
| 主な財源 | 実施方法 | H25年度 決算額 | H26年度 決算額 | H27年度 決算額 | H28年度 決算額 | H29年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | ○H29年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、交通信号機の新設4基、改良・更新132か所、公共車両優先システムの整備を行った。 ○H30年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、引き続き、交通信号機の新設3基、改良・更新73か所の整備を行う。 | |
| 県単等 | 直接実施 | — | 48,891 | 145,048 | 231,953 | 269,333 | 221,005 | 県単等 | | |
| 予算事業名 交通安全施設整備事業(沖縄振興) | | | | | | | H30年度 | | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H25年度 決算額 | H26年度 決算額 | H27年度 決算額 | H28年度 決算額 | H29年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | ○H29年度: — ○H30年度: — | |
| 県単等 | 直接実施 | — | 63,840 | 60,671 | 157,141 | — | — | | | |
| 予算事業名 信号機電源付加装置整備事業 | | | | | | | H30年度 | | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画 | |
| 主な財源 | 実施方法 | H25年度 決算額 | H26年度 決算額 | H27年度 決算額 | H28年度 決算額 | H29年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | ○H29年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、信号機電源付加装置を15基整備した。 ○H30年度: 道路における交通の安全と円滑を確保するため、引き続き、信号機電源付加装置(リチウムイオン電池式)を20基の整備を行う。 | |
| 県単等 | 直接実施 | — | — | 34,055 | 36,000 | 36,000 | 36,000 | 県単等 | | |
| 活動指標名 | 交差点信号機の集中制御化 | | | | H29年度 | | | H29年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 |
| 実績値 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | 691基 | 747基 | 751基 | 751基 | 757基 | 757基 | 100.0% | 963,206 | 順調 | 平成29年度は6基の整備を行い、累計757基の交差点信号機の集中制御化が図られた。また、交通管制端末装置の改良・老朽化更新を計画的、効率的に行った。 進捗状況の判定根拠と取組の効果 交差点信号機の集中制御化については、平成33年度目標値789基に対して、平成29年度時点で757基を整備しており、達成率は約96%となり、「順調」に推移している。また、公共車両優先システムの整備等も行い、交通の安全と円滑化を図った。 |
| 活動指標名 | — | | | | H29年度 | | | | | |
| 実績値 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 活動指標名 | — | | | | H29年度 | | | | | |
| 実績値 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | — | — | — | — | — | — | | | | |

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況

| 平成29年度の取組改善案 | 反映状況 |
|--|--|
| ①業務の一部を外部委託するなどして事務の合理化を図り、その成果物を活用して交通安全施設の新設、改良、更新を効率的に行う。 ②老朽実態を踏まえた計画的な交通安全施設の高度化更新、老朽化更新整備を図る。 | ①設計委託による工事の早期執行、交通量調査、信号機データ入力業務委託等による成果物を活用した効率的な新設、改良、更新を行った。 ②老朽実態を踏まえた計画的な交通安全施設の高度化更新、老朽化更新整備を図った。 |



3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・交通安全施設整備にかかる知識習得に時間を要し、予算執行体制が十分に確保できないことから、安定的な執行体制を確立することが必要である。

○外部環境の変化

・道路新設に合わせて迅速かつ適切に交通安全施設を整備するため、道路管理者との綿密な連携を図る必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・業務の合理化に努め、効率的な施設整備を図っていく。
・平素から道路管理者と連携を図り、新設道路及び老朽化施設の実態把握に努め、交通安全施設整備計画を策定するなどして、計画的な施設整備を推進していく。



4 取組の改善案(Action)

・効率的、計画的な施設整備を推進するとともに、交通安全施設の老朽化対策に特化した事業立てを行い、交通安全施設整備の充実強化を図る。